

JRCA 2017 年 第 6 回理事会 議事録

2017 年 11 月 08 日 (水) / 文京シビックセンター 3F 会議室 A 18:00～

出席者:長瀬、中原、新井、西井、斎藤、佐藤、中島、
高桑、富田、倉林、伊藤、保井

1:【第8戦ハイランドマスターズ(岐阜県高山市)の報告】

- ・御嶽という新たなコースが設定された。道の状況や狭さにより選手からは賛否両論あったが、新たな道としてバリエーションが増えたのは良かったし、主催者の努力が伺えた。
- ・レッキのスケジュールをもう少し工夫して組んでもらえると嬉しい。ステージ前での待ち時間が長く、この状態であればレッキスタート時間を遅らせられたのではないか。
- ・受付の時間と車検の時間が近すぎた。受付後にゼッケンを貼る時間もなく、車検に遅れた。もう少しタイムスケジュールのバランスを考えて欲しい。
- ・今回は狭い林道も多かったので特にそうなのだが、レッキ時に後ろに車が詰まってもなかなか道を譲らなかつたり、道の真ん中で急に止まったりする車も見受けられた。レッキ時のマナー向上の必要性が感じられた。
- ・車検が今までの土曜朝から金曜日に変更されたのは良かった。
- ・サービスパークの動線が改善された。
- ・高山の街中でスタート出来たりすると良いと思う。折角歴史あるイベントなので地元へのアピールをもう少ししても良いと思う。

2:【第9戦 新城ラリーの報告】

- ・最初サービスパークが一方通行ではなかったのは危なかった。
- ・バスの発着場がサービスパークに隣接していたため、サービス中にバスが到着するとサービスパークに一気に人が流れ込み非常に危険だった。ラリー観戦が初めてのギャラリーも多いのでサービスパーク内の誘導や規制などギャラリーの安全対策には十分気を使ってほしい。
- ・鬼久保ステージはレッキ時にシケインが設けられていたセクションが大幅に変更されたが、本番では大きなトラブルは起きなかった。ただ、同じステージを4回も使用するのを避けて欲しい。
- ・新城総合公園SSで犬が飛び出てきた。飼い犬か野良犬かはわからないが、ペットOKのイベントの場合の安全管理はどうなっているのか？ 今後は観戦者にもペットへのリスクや安全管理の要項を盛り込んだ方が良いのではないかと。

- ・サービスパークが2か所に別れていたが、動線があまりにも違いすぎて不公平だった。
- ・Day2のタイムスケジュールの調整、TC待ちの時間が多く酷すぎた。あと、TGRの総合公園SSと全日本のサービスの時間帯が被っていたため TC 前にTGRの車が並んでいてサービスインが出来なかった。
- ・サービスカー登録車両なのにサービスパークに車を入れさせて貰えなかった。
- ・メディア申請はスムーズで、メディアポイントも沢山あったのは良かった。

3、【JAF加盟団体の申請についての続報】

- ・書類や資料の記載事項を一部修正、変更し再度提出。11月のJAFの登録委員会での審議、承認待ちとなった。

4、【2017年度のJRCAアワードについて】

- ・理事会での協議の結果、JN2クラスで初チャンピオンを獲得した猪股寿洋選手と若手育成を目的とした学生向けのコンプリートレンタル車両でJN1クラスに参戦したMATEX-AQTEC RALLY TEAMを今年度のJRCAアワードに選出した。
- ・トロフィー授与はJAF表彰式の時に行う。

5、【全日本ラリーへ貸し出し中のFIV用救急キットの物資補充について】

- ・使用中の救急キットで使用期限を迎えている用品などもあるため、それらの補充を行う予定だったが、リース品の方が管理のし易さや年間のコストの面でも良いとのことなので来年からはリース品へ変更する予定。
- そのため、主催者部会の医療担当へ来季分の予算を上乗せすることとする。
原則として、救急キットの維持費用は主催者部会で負担する。

6、【2018年度のJRCAガイドブックの制作について】

- ・各業者様やスポンサー様との兼ね合いもあり、例年通りの制作スケジュールで4月発行とする。第1戦のBICCに関しては、本年度同様に競技結果を記載する。

7、【次回理事会開催予定】

- ・2017年12月13日(水) 文京シビックセンター 3F 会議室 18:00～